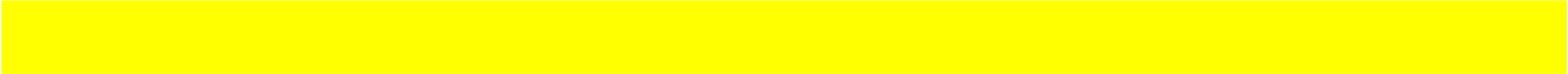


主体的・対話的で深い学びを目指し、
思考を支える「ことば」の力を育むための授業づくり
～「ことば」を使って伝え合おう～

令和2年11月26日
研究部

1 研究概要



2 主体的・対話的で深い学び
の実現のために



3 これまでの研究の成果と課題



1 研究概要



1 研究概要

研究主題

主体的・対話的で深い学びを目指し、
思考を支える「ことば」の力を育むための授業づくり

1 研究概要

「ことば」とは

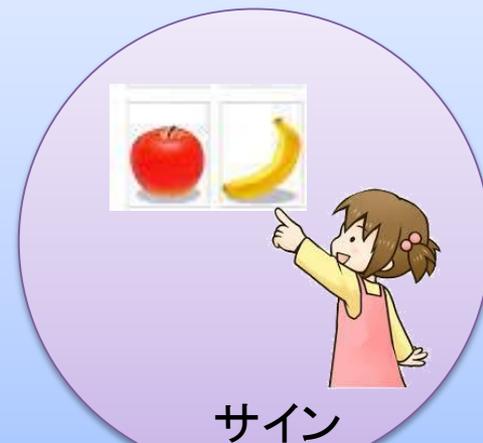
音声言語のみでなく、子どもたちが発するあらゆる、表情、微細な動き、身振り、サイン、発声、喃語などを子どもたちの「ことば」として受け止めます。

「ことば」



喃語

発声



1 研究概要

研究の目的

主体的・対話的で深い学びを目指し，思考を支える「ことば」の力を育むために，国語科・自立活動の授業の在り方を明らかにする。

※ 「国語科」は，指導形態ではなく指導内容

思考を支える「ことば」の力を育むための
授業の在り方

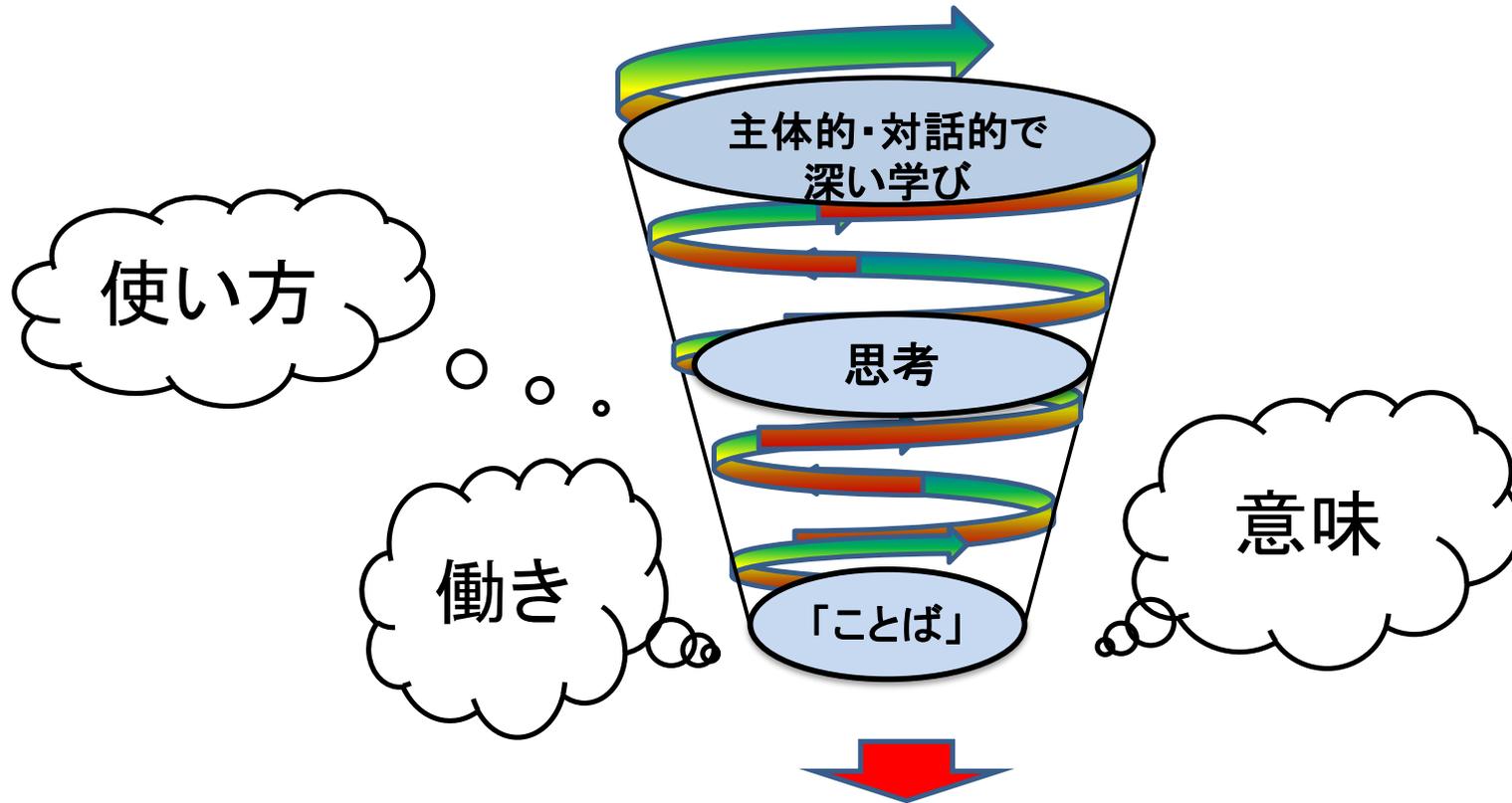
ねらい

授業内容

指導計画

1 研究概要

主体的・対話的で深い学びの実現のために



目指す児童生徒の姿

児童生徒が「ことば」のイメージを広げ、深め、「ことば」を活用しながら発信したり、伝え合ったりする姿。

2 主体的・対話的で深い学びの 実現のために



2 主体的・対話的で深い学びの実現のために

【研究副題】

「ことば」を使って伝え合おう

【研究仮説】

伝え合う活動を取り入れた学習によって、
主体的・対話的で深い学びが成立するであろう。

2 主体的・対話的で深い学びの実現のために

伝え合う活動を取り入れた学習を通して

授業



授業



目指すところ

ではなく...

伝え合う活動

資質・能力の育成

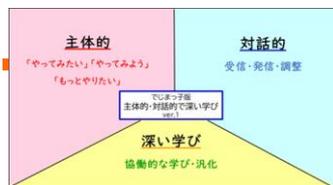
主体的・
対話的で
深い学び

伝え合う活動

2 主体的・対話的で深い学びの実現のために

矢印＝学習の過程

「資質・能力の育成」



「主体的・対話的で深い学びの姿」



「伝え合う活動」

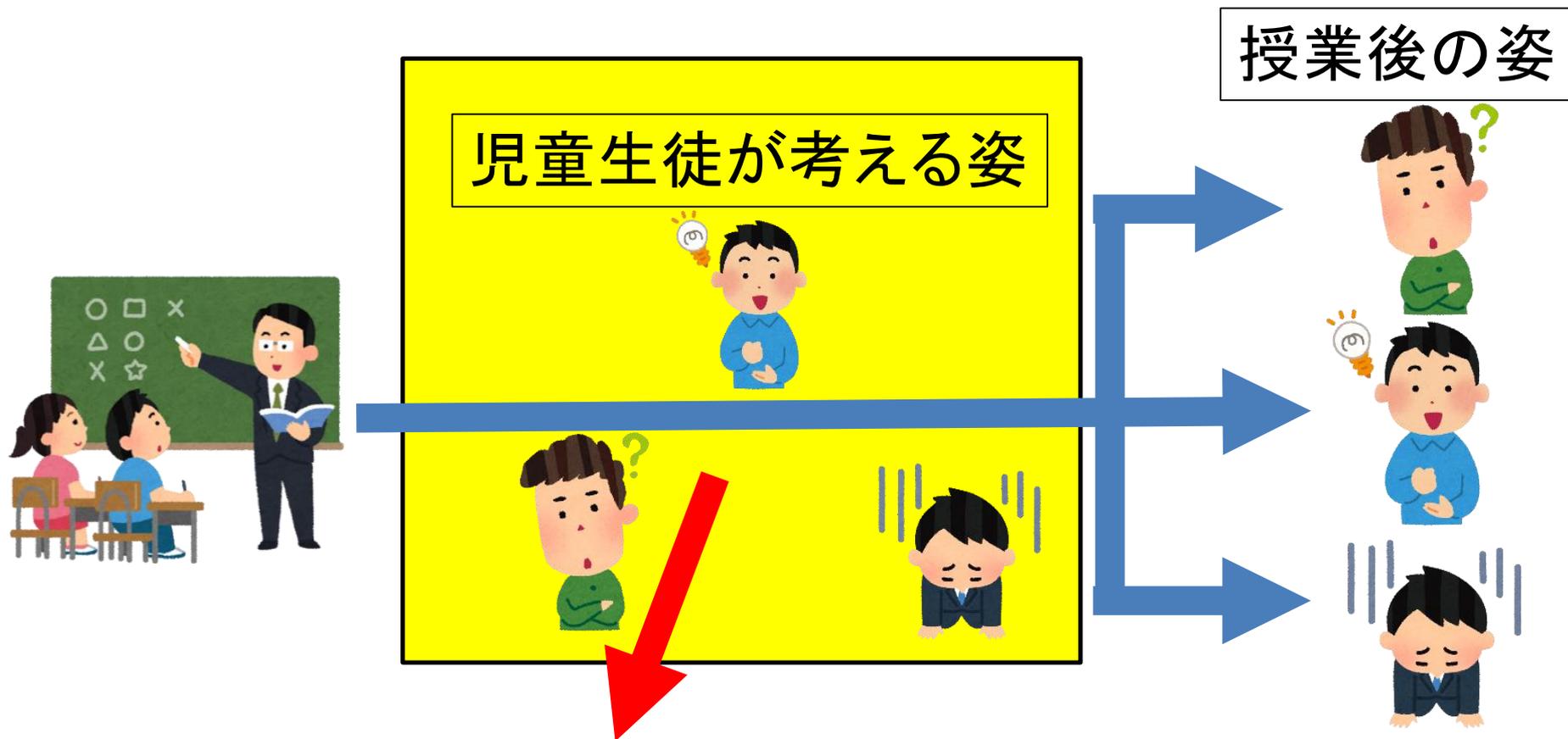
【今年度の研究仮説】

伝え合う活動を取り入れた学習によって、主体的・対話的で深い学びが成立するであろう。

※ 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、「**伝え合う活動**」を設定する。

2 主体的・対話的で深い学びの実現のために

児童生徒の学びの姿を見取る



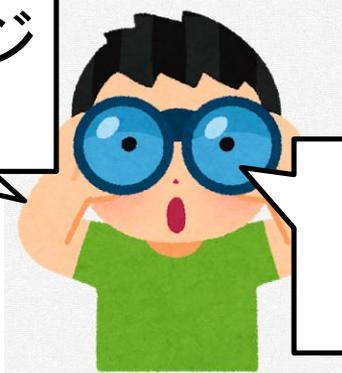
児童生徒は授業の中の一瞬一瞬で、いろいろ考えている。
(ここに主体的・対話的で深い学びが隠れている！！)

2 主体的・対話的で深い学びの実現のために

でじまっ子チャート

見える化！

姿がイメージ
しやすい！



目指す姿の
方向性が見え
る！

主体的
「やってみたい」
「やってみよう」
「もっとやりたい」

対話的
受信・発信・調整

深い学び
協働的な学び、汎化

主体的な
姿？

対話的
な姿？

深い学びの
姿？



平成31年度 3月全体研修会アンケートを基に作成

2 主体的・対話的で深い学びの実現のために

各学部研修会



授業づくりシート (国語科)

	① 学習活動	② 評価・評価基準	③ 児童生徒の姿
1次			
2次			
3次			

④ 学年と今後の展開 (目標に関連して)

- 充実した目標設定
- 適切な授業評価・授業改善
- 児童生徒を見取る力の向上へつなげていく

2 主体的・対話的で深い学びの実現のために

【研究仮説】

伝え合う活動を取り入れた学習によって、
主体的・対話的で深い学びが成立するであろう。



授業



伝え合う活動

授業づくり
シート

でじまっ子
チャート



児童生徒の
主体的・対話的
で深い学びの姿
の明確化

2 主体的・対話的で深い学びの実現のために

小学部第2学年3組 単一障害学級 国語科

単元名

「おはなしをたのしもう～あぶくたった～」



2 主体的・対話的で深い学びの実現のために

主

自分から前に出て表現しようとする。

対

教師や友達の様子を見て、動作や言葉で表現しようとする。

深

「どうぞ。」「ありがとう。」などをことばで伝えようとする。

「伝え合う活動」として



- 絵本の内容に沿って、「むしゃむしゃむしゃ。」や「にえない。」などの言葉を、身振りや言葉で表現し教師や友達に伝えるわらべうた遊びを行った。

2 主体的・対話的で深い学びの実現のために

小学部第5学年6組 重複障害学級 自立活動

題材名

「一緒に遊ぼう ～魔法のじゅうたん遊び～」



2 主体的・対話的で深い学びの実現のために

主

活動を通じて感じたことを表情や発声、身振りで表現する。

対

遊んでいる友達に注目したり、
教師の存在に気づき、意識して活動したりする。

深

活動への期待感やもう一度繰り返してほしい気持ちを
教師に注目したり、スイッチを押したりして伝えようとする。

「伝え合う活動」として



- 児童が「感情を表現したい。」
「先生に伝えたい。」と思えるよう
に、好みの刺激を取り入れた「歌
遊び」、「バルンポリン」、「魔法の
じゅうたん遊び」、「振動スピー
カー」を設定した。

2 主体的・対話的で深い学びの実現のために

中学部第2学年3組 単一障害学級 国語科

単元名

「いろいろな言葉を知ろう ～五つのドアゲームをしよう～」



2 主体的・対話的で深い学びの実現のために

主

自分の思いを積極的に伝えようとする。

対

色や形、属性を意識して、説明しようとする。

深

伝え合う楽しさを共感し、友達とかかわろうとする。

「伝え合う活動」として



- 伝え合う楽しさを共有しながら、やり取りに必要な語彙力や表現力を培うために、段階的に難易度を高めた、伝え合うことで進行する「ブロック作りゲーム」、「絵合わせゲーム」、「五つのドアゲーム」を設定した。

2 主体的・対話的で深い学びの実現のために

高等部第1学年1組 単一障害学級 国語科

単元名

「意見を聞いて、伝えよう」



2 主体的・対話的で深い学びの実現のために

主

相手の意見に関心を持ち、受け入れようとする

対

受け入れてもらったことに喜びを感じ、
更に相手に自分の意見を伝えようとする

深

友達同士で協力し、自分たちの力で意見交流をしようとする

「伝え合う活動」として



- 聞き方・話し方のポイントや自分の役割を意識しながら、自分の意見を相手に伝える意見交流を行った。

2 主体的・対話的で深い学びの実現のために

高等部第1学年4組 単一障害学級 国語科

単元名

「物語を作ろう ～「いきいき言葉」で表現しよう～」



2 主体的・対話的で深い学びの実現のために

主

場面に合った「いきいき言葉」を考えたり、選択したりする。

対

自分の考えを相手に分かりやすく伝える。
相手の考えを受けて再考したり、称賛したりする。

深

グループで意見がまとまるように話し合いをする。

「伝え合う活動」として



- 物語の内容がより豊かになるよう、場面に合った「いきいき言葉」(擬音語・擬態語)を考え、グループで話し合う活動を行った。

3 これまでの研究の成果と課題



3 これまでの研究の成果と課題

【成果】

- アンケートを基に、「でじまっ子チャート」を作成した。児童生徒の姿を「見える化」したことで、主体的・対話的・深い学びのそれぞれの姿が考えやすくなった。

【課題】

- 「でじまっ子チャート」を作成し、全校に提示したが、全学部・類型の内容が含まれたものであり、活用しようとした際に、難しさがあった。

3 これまでの研究の成果と課題

今後の展望

- 今年度のまとめに向けて、全学級作成の「授業づくりシート」の内容や、各学部研修会のアンケートを集約し、取組を整理する。

- 主体的・対話的で深い学びの実現を目指す中で、より児童生徒の実態に即した活用ができるよう、「でじまっ子チャート」を学部・類型ごとに作成する。

ご清聴ありがとうございました。

